

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市白根地域ケアプラザ

## 2 事業計画

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

白根地域ケアプラザの担当圏域は帷子川に流れ込む中堀川の両サイドの丘陵地が住宅地として昭和40年代頃から開発された白根地区と、国道16号線北側の興和台団地、猪子山緑地がある川島町になります。平成29年3月末の調査では、白根地区担当圏域（白根1丁目から白根7丁目）の世帯数が6,824世帯で人口15,541人、高齢化率が24.7%で旭区の高齢化率28.3%より低く、川島町は全域で世帯数2,562世帯、人口5,790人、高齢化率が30.2%で旭区の高齢化率より高めになっています。白根地区は、町内会自治会連合会と地区社会福祉協議会が一体となって地域の主な行事や活動をすすめています。川島町の担当圏域は、興和台自治会館、猪子山町内会館を拠点とした活動が活発に行われています。どちらの地域も住民の高齢化にともない一人暮らし世帯や高齢者世帯が増加していて、これら的高齢者に対しての見守り活動や元気な高齢者の健康を維持するための活動支援の課題があります。また、子育てや障害児支援に関わるインフォーマルサービスの開発も共通する地域課題となっています。

#### (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 高齢、障害、子育ての各分野の相談に対応できるように各種制度の仕組みを把握して、職員が一律に窓口対応を出来るように項目別に整備した相談受付票を配備しました。
- ・ 老人会、食事会、子育てサロン、エリア内の関連施設を訪問して福祉保健情報の交換と提供を行い白根地域ケアプラザ総合相談の情報量を増やしました。
- ・ 広報紙、ホームページを通して情報発信が出来るように毎月内容を更新して発信すると共にエリア内医院、クリニックへ持参し情報更新と共に顔の見える関係作りを実施しました。

#### (3) 各事業の連携

- ・ 毎朝のミーティング、毎月の所内リーダー会議、5職種会議等で日常的に情報共有をすすめて、各部門が共通の目標に向かって協働しました。
- ・ 地域活動交流部門と生活支援コーディネーターが地域ニーズをリサーチして、生活者の視点を取り入れた事業を企画、地域包括支援センター3職種の専門性を活かした共催事業に取り組みました。
- ・ 各事業の地域情報を共有して支援が必要な個人、団体、エリア等のニーズを抽出しました。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

##### 【職員体制】

- ・ 所長、地域包括支援センター三職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの常勤職員の欠員が発生しないように適切に配置致しました。

##### 【職員の育成】

- ・ 育成を目的として管理者と職員との面談を年2回行いました。法人内、法人外研修には積極的に出席して職員の資質向上に努めました。

##### 【公正・中立性の確保】

- ・ 朝礼やミーティング等で利用者への適切な事業者情報の提供方法等の確認を行いました。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 地域の組織団体（白根地区町内会自治会連合会、白根地区社会福祉協議会、白根地区民生児童委員協議会等）と連携して地域の行事や会合に積極的に参加して情報交換、情報提供を行って地域ネットワークの構築に努めました。
- ・ 興和台自治会ですすめている興和台地区の見守りネット役員会に参加して、地域で見守り体制づくりの支援から一歩進めて高齢者の閉じこもり予防の企画にも参画しました。
- ・ 地域の福祉保健関連施設（障害者施設、保育園）、学校、市民利用施設等と連携して地域ネットワークの活動拠点情報を収集しました。
- ・ ボランティア活動グループの情報を集約して、白根地区のボランティア活動マップ等を更新しました。

#### (6) 区行政との協働

- ・ 第3期旭区地域福祉保健計画白根地区計画の推進支援を旭区役所・旭区社協と協働して取り組みました。
- ・ 毎月実施している旭区福祉保健センターとの定例カンファレンス等を通して、旭区の運営方針や最新の行政情報を的確に把握することで、行政と一体となって事業をすすめていきました。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- ・ 自主事業を通じて福祉保健活動の開発・実施や新たな地域福祉のための取組を地域の実情やニーズに合わせて行いました。
- ・ 高齢者、子ども、障害分野の事業をバランスよく実施して、地域活動に貢献できる自主活動化の働きかけを行いました。
- ・ 施設内だけでなく、出前講座などを開催し地域で事業を展開しました。
- ・ 自主事業の開催には具体的な目標（数値・成果）を設定し、事業開催後に自己評価を行い次のステップにつなげました。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体の部屋利用は抽選ではなく当事者同士の話し合いで決めていくことで多くの団体が利用できる機会の提供をすすめています。
- ・地域交流室の利用方法、予約空き情報を館内に掲示して多くの方が利用できるように利用促進をすすめています。
- ・町内会館・自治会館や市民利用施設に福祉保健活動の活動拠点が広がるように、出前講座を開催して活動拠点を開発しました。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・旭区社会福祉協議会や地域の福祉保健関係団体と情報交換をしてボランティア養成講座を企画しました。
- ・登録して活動しているボランティアを対象に、活動内容に合わせたフォローアップ研修を企画しました。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録講習会を開催して高齢者のボランティア活動を促進、支援しました。
- ・団体及び個人ボランティアの登録を促進して活動の場へのコーディネートをすすめていきました。

## (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・白根地区の福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社協・連合町内会・地区民児協・地域のサロンや昼食会、配食サービス等）を把握して関係機関への毎月の広報紙の配布等、定期的な情報提供を行っています。
- ・旭区役所、旭区社協からの情報提供を活用して地域を支援しました。
- ・白根地域ケアプラザ登録団体の会を開催して情報の提供と交換を行いました。
- ・毎月広報紙「ふれあい広場」を発行するとともにホームページを随時更新して白根地域ケアプラザの活動状況を提供しています。

# 3 生活支援体制整備事業

## (1) 事業実施体制

- ・地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター3職種それぞれの専門性を活かして、生活支援体制整備事業に取り組みました。
- ・旭区の地域包括ケア推進担当、旭区社協の第1層生活支援コーディネーターと連携して体制整備をすすめました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・白根地区の地域状況を把握・分析するために、地域アセスメントに適した地域アセスメントシートの作成を検討して、地域アセスメントをすすめました。
- ・住民主体の地域活動や生活支援サービスを提供している圏域内の状況を把握してリストにまとめました。

### (3) 連携・協議の場

- ・生活支援コーディネーターが、介護予防に係わる、多様な主体による多様な取組のコーディネートを行うことで、元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保や関係者間の情報が共有できるネットワークの構築ができる体制を目指しました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・白根地区に隣接する地域課題を共有するために、第1層生活支援コーディネーターや隣接する地域の第2層生活支援コーディネーターと検討して取り組みました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・担当圏域内の町内会・自治会へ積極的に向かい近隣住民との顔の見える関係づくりをすすめて、生活圏域内のネットワーク構築を行いました。
- ・担当圏域内及び周辺の医療機関、薬局、介護保険サービス事業所等に支援を依頼して、地域との連携がすすむように介護予防講座や保健活動講座等を企画して、地域と事業者のコーディネートをすすめました。
- ・地域包括支援センターの3職種が連携してそれぞれの専門性を活かして地域のネットワークの構築支援に努めました。

#### ② 実態把握

- ・地域行事や会合を訪問して高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の実態を把握しました。
- ・行政資料等の各種統計資料から圏域の情報を収集して地域の実態把握をすすめました。
- ・講座や教室の開催時にアンケートを実施して、どのような支援が必要か、どのような情報が求められているのかを把握しました。

#### ③ 総合相談支援

- ・高齢者に関するさまざまな相談を受けとめ、相談内容を的確に把握して対応しました。その場で解決できるものはその場で解決し、解決できないものは関係機関（行政機関、医療機関、介護保険事業者等）につなぎ協働しました。
- ・必要に応じて継続的にフォローしていく体制を作っていきます。
- ・高齢、障害、子育ての各分野の相談に対応できるように各種制度の仕組みを把握して、職員が一律に窓口受付対応を出来るように相談受付票を配備しています。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度をはじめとする権利擁護事業や消費者被害保護など関連する法制度を理解し、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協等担当部署へつなぐ等適切な支援を行いました。
- ・ 成年後見制度等の普及啓発に取り組んでいくため、専門家による相談を企画、実施しました。
- ・ 親族申立支援にあたり第三者後見人や家裁への手続きが必要な場合には適切なアドバイスを引き続き行っていきます。

### ② 高齢者虐待への対応

- ・ 早期に発見、対応できるように地域住民、介護保険事業者、医療機関等との情報共有ができる関係づくりに努めました。
- ・ 横浜市高齢者虐待防止事業指針に基づいた対応に努めました。
- ・ 虐待事例に対し、旭区福祉保健センター及び関係機関と支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応して適切な支援を行いました。

### ③ 認知症

- ・ 旭区徘徊SOSネットワークの普及啓発と地域への周知を目的として、地域包括支援センター三職種協働で地域を回り、協賛店の新規開発を行いました。
- ・ 認知症の正しい理解の促進のため、出前での認知症サポーター養成講座やアルツハイマー月間における「認知症に関する映画」の上映を行いました。
- ・ 認知症の人と家族が安心して暮らせるように家族会等を開催してネットワークの構築に努めました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 行政及び地域の高齢者支援団体等と協働して、地域ニーズの把握に努めました。
- ・ 担当圏域内の町内会館・自治会館等を利用した地域活動を訪問して地域住民との顔の見える関係づくりに努めました。
- ・ 担当圏域内の民生委員児童委員等と定期的に情報交換を行い、要支援者情報の共有、連携事業の検討等を行い、連絡研修会も実施しました。
- ・ 旭区内ケアマネジャー連絡会と連携して情報交換を行いました。

## ②医療・介護の連携推進支援

- ・担当圏域内の医療機関、介護保険関係機関等を定期的に訪問して、白根地域ケアプラザの活動を紹介して、情報交換を行いました。
- ・医療相談室からの退院調整依頼に関し、ケアマネジャーとの調整を行い、円滑な在宅生活復帰への支援を行いました。
- ・介護サービスの担当者会議、カンファレンス等で、必要に応じ、医療関係者等と連携し支援体制を構築しました。

## ③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーが抱えているケースに対して、地域ケアプラザ協力医業務を広報して医療的な助言が得られるように支援しました。
- ・担当圏域が隣接する左近山地域ケアプラザ、鶴ヶ峰地域ケアプラザと定期的に連絡会を開催して、ケアマネジャーのネットワーク支援、ケアマネジメント研修、医療連携の機会を提供しました。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・必要に応じて担当圏域内の個別ケースの地域ケア会議を開催して、専門職、地域支援者、当事者間との情報や課題を共有してネットワークの構築に努めました。
- ・各職種の専門性や視点を活かして課題解決に向け、協働して取り組みました。

## (5) 介護予防ケアマネジメント

### (指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・介護予防支援計画を策定する場合は、地域包括支援センター内で随時カンファレンスを行い、アセスメントの整合性を検討して、できるだけ自立度の高い生活ができるように適切なプランを作成しました。
- ・介護予防支援計画を委託する場合は、担当者会議等に参加して適切なケアマネジメントができるように支援しました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・ 地域住民の声から始まった体力測定を興和台老人会とケアプラザ共催にて開催いたしました。
- ・ 要介護状態にならないように、運動・口腔ケア・栄養改善・認知症予防について地域に情報提供して、地域の方が主体的に介護予防に取り組めるように支援しました。
- ・ 従来行われている地域の介護予防事業の情報を収集して支援しました。

## 5 その他

### 白根地域ケアプラザの認知度の向上

- ・ 地域ケアプラザ所在地の周知、事業内容の理解、地域住民と職員との顔の見える関係づくりをすすめるために、積極的に地域に出向いて活動するとともに広報紙やチラシを効果的に配布しました。
- ・ 自主企画事業を積極的に企画実施して地域ケアプラザの事業内容を周知することで認知度の向上を図りました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- ・ 指定管理者として、利用者に施設を快適安全に利用していただくとともに、施設や設備の価値をできる限り維持できるように計画的に管理致しました。
- ・ 運営法人として、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）1U（美しい）の取組を推進しました。職員一人ひとりが施設管理への意識を持つと共に、利用者の視点に立った設備の安全、快適な環境、性能性及び快適性に配慮しながら、きめ細かいメンテナンス対策をすすめました。
- ・ 施設の管理については、日常点検として巡視点検を行い、定期点検については、専門業者に委託して実施しました。点検結果等は報告書等を作成しました。設備管理は、設備・機器自体の保全と共に、適正運転がされることが重要であり、そのため専門業者に委託して、各種点検・検査や測定・記録を実施しました。
- ・ 施設、設備、機器の修繕については、区役所に報告するとともに、適切に対応しました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・白根地域ケアプラザの労務・経理等の事務処理に関しては運営法人本部と役割を分担して効率的な運営を行いました。業務の委託や備品購入に当たっては、法人割引等を活用して経費の削減に努めました。
- ・朝礼や職員会議等で職員のコスト意識の高揚を図りました。電力の使用については、こまめな消灯、無駄な機器などの運転をしないことを行いました。
- ・白根地域ケアプラザ3部門の連携と情報等の共有を図るとともに、職員会議等で効率的な取組について検討しました。
- ・法人内地域ケアプラザ所長会では知恵を出し合うなど効率的な運営に努めました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ご利用者及び地域住民の方から、業務遂行上の苦情をいただいた場合、内容は市役所・区役所に書面をもって報告するとともに、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を職員一人ひとりがもてるように対応しました。
- ・所長を苦情対応の総括責任者とし、各部門の管理者を苦情受付・解決責任者として、館内に掲示するとともに心のこもった対応と速やかな解決を図るように対応しました。
- ・苦情等の内容は記録として残し、原因追及を図ることで、苦情予防となるように分析して、今後の対策を検討し対応しました。
- ・地域ケアプラザ情報ラウンジにご意見箱を設置して、自由に記入していただけるように対応しました。
- ・運営法人として設置している弁護士等を含む第三者委員会により、重要課題については、連絡、相談し、適切な対応・解決に結びつけられるようにしました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・火災・事故・地震・台風などの災害発生時には、結果回避義務（発生事の対応）に従い、すばやく初期対応を行い、マニュアルに基づき全職員が利用者の安全確保ができるように体制を整えました。
- ・ケアプラザの貸館利用者については、災害時の避難誘導の手順、利用者へ火器使用時の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気ガスの消し忘れ等チェックリストを利用した点検を利用者に周知するとともに、職員も日常的にチェックリストによる巡視点検を行い事故防止対策に取り組みました。
- ・地域の防災訓練、防災講演会、その他の地域行事に参加して、日頃から「顔の見える関係づくり」に努め有事に備えていました。
- ・災害時特別避難場所となっているので、その役割を認識するとともに、備蓄物資を適正に管理しています。
- ・防犯対策は、鍵の管理責任者は所長、開閉は正職員の鍵当番が行い、開閉前後に点検表により全館点検、戸締り等を徹底、夜間等は警備会社（機械警備）と連携して、事故防止に努めました。



#### オ 事故防止への取組について

- ・事故防止については、法人統一の事故防止マニュアルがあり、対応フロー、連絡体制、報告判断基準も明示しました。機器等の取扱いについては日常的に正確な動作を行うことを徹底するとともに、なすべき動作の欠落がないように相互チェックを行い非常事態時に対応できるように体制を整えました。
- ・職員会議等で、事故防止、感染症対策等の取組を検討するとともに、発生したすべての事故を検証して事故の減少に努めました

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・白根地域ケアプラザでは、施設利用の方々の多くの個人情報を保有することになるため、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚労省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守しました。
- ・運営法人の「個人情報保護に関する規程」に従って利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱いに関し必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を随時実施していきました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・横浜市の指定管理料等によって運営されている地域ケアプラザの事業は、広く住民に状況が開示されることを当然と受け止め、「指定管理者の情報の公開に関する標準規程」に準じて、適正な対応を行いました。
- ・白根地域ケアプラザで発行する広報紙「ふれあい広場」（毎月1回発行）で、白根地域ケアプラザの運営状況等を公開しました。また、運営法人のホームページ等で事業の紹介などを行いました。介護サービス情報の公表では、神奈川県指定機関による確認を経て開示しました。
- ・ケアプラザ窓口に、事業計画書、事業報告書、予算決算書等を常時備え付け、閲覧出来るようにしました。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・白根地区社協が行う地域の小中学校個別支援級の生徒児童を対象にした障害児余暇支援事業の支援に取り組みました。
- ・近隣の地域活動支援センター運営法人と協働して精神保健ボランティアと当事者との交流事業に取り組みました。

## ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市は、環境方針において、理念及び基本方針が出されています。公の施設である地域ケアプラザもこれに基づき取り組みました。

### 【横浜市のごみゼロ「ヨコハマ3R夢プラン」の理解と実践】

- ①リデュース (Reduce) ～ごみそのものを減らしました。  
会議資料の両面印刷の励行、不要なファックス表紙の廃止等コピー用紙の無駄を減らしました。  
施設利用者等の部屋利用については、ごみの発生抑制をお願いしていきました。  
(例：使い捨ての割り箸や容器を使わないで、ケアプラザ備え付けの箸や食器を利用していただく。)
- ②リユース (Reuse) ～再利用します  
封筒の再利用、不要紙の裏紙の利用等、小さなことでも徹底した取り組みによって、職員にゴミの減量化を意識づけました。
- ③リサイクル (Recycle) ～再生利用します  
物を最後に廃棄する場合、全職員が手順書に基づいてごみの分別を徹底しました。

### 【電気・ガス等エネルギー使用の削減】

- ①節電対策として、不要な電灯は消灯、各部屋に設置した温度計の室温表示を参考に空調設備の運転は冷暖房の設定温度を夏季 25℃～28℃、冬季 18℃～22℃を目安に設定して温度管理を行いました。
- ②ブラインドやサーキュレーターの使用により冷暖房の効率化を図りました。

### 【建物内外の整備】

- ①運営法人の取組にある5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）1U（美しい）運動を推進して来訪者が気持ちよく活動できる環境を維持できるように取り組んでいきます。
- ②パール横浜白根ビルに出店している他テナントと協働して、ビル共有部分の管理を行いました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 : 常勤1名 (地域包括支援センター主任ケアマネジャーを兼務)  
計画作成担当者 : 常勤3名 (地域包括支援センター社会福祉士 兼務1名  
地域包括支援センター保健師 兼務1名  
地域包括支援センター 主任ケアマネジャー兼務1名)

#### 《目標に対する成果等》

介護保険法等の関係法令に従い、当該担当地域内に居住する利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した生活を営むために必要な介護予防サービスが適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて介護予防サービス支援計画書を作成するとともに、当該計画に基づいて適切な介護予防サービスの提供が確保されるようサービス提供事業者及び関係機関等との連絡調整その他の便宜を、提供しました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

介護予防プラン作成担当者が通常のサービス提供地域を超える地域に訪問、出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要になります。今年度実費徴収事例は有りませんでした。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者の状態や要望によっては、規定された回数以上の訪問や担当者会議を実施して、利用者の家族と定期的に連絡をとり利用者の状態を適宜把握しました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
121	120	124	123	124	130
10月	11月	12月	1月	2月	3月
136	140	141	135	135	135

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 : 常勤 1 名 (介護支援専門員を兼務)  
 介護支援専門員 : 常勤 4 名 (専従 3 名 管理者兼務 1 名)

《目標に対する成果等》

- ①利用者が住み慣れた地域で、安心して日常生活を営めるように、ご利用者の意向に沿った適切なケアプランの作成を心がけました。また、サービス提供事業者のみならず行政機関・医療福祉機関・ボランティア団体等との連携を深め、チームケアによる質の高いケアマネジメントを実践できるように努めました。
- ②自治体の委託により、介護保険認定調査を積極的に受託しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ①居宅介護支援費において、ご利用者負担はありません。
- ②通常サービス提供地域以外の訪問・出張の場合には、交通費（実費）の支払いが必要となります。  
 今年度実費徴収事例は有りませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①地域の方々との顔の見える関係を築き、身近な介護相談の窓口としても、ご利用頂けるようにしました。
- ②地域包括支援センター併設の居宅介護支援事業者として、支援困難ケースに対しても地域連携を大切にし、問題解決に向けて積極的に関わりました。
- ③24 時間連絡体制・研修計画・定期会議等の仕組みを整え、質の高いケアマネジメントを実践できる居宅介護支援事業者を目指しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
108	114	117	123	115	122
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
124	124	117	120	109	106

● 通所介護・認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

- (要介護1) 円
- (要介護2) 円
- (要介護3) 円
- (要介護4) 円
- (要介護5) 円

● 食費負担 円

- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成29年度「横浜市白根地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,490,972	△ 474,000	15,016,972	15,016,972	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	781,420	△ 781,420	自主事業参加費
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	21,800	△ 21,800	
印刷代	0		0	21,800	△ 21,800	印刷代
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	15,490,972	△ 474,000	15,016,972	15,820,192	△ 803,220	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,500,000	0	10,500,000	11,222,668	△ 722,668	
本俸	8,027,000		8,027,000	8,680,784	△ 653,784	職員給与
社会保険料	952,000		952,000	970,392	△ 18,392	健康保険・厚生年金保険・労働保険料
手当計	1,425,000		1,425,000	1,500,663	△ 75,663	調整手当・超過勤務手当・通勤手当・その他各種手当
健康診断費	12,000		12,000	469	11,531	職員健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	84,000		84,000	64,798	19,202	職員退職共済制度掛金(横浜市社会福祉協議会)
その他	0		0	5,562	△ 5,562	職員退職共済制度掛金(福祉医療機構)
事務費	962,743	0	962,743	1,530,421	△ 567,678	
旅費	20,000		20,000	13,093	6,907	職員移動交通費
消耗品費	150,000		150,000	212,157	△ 62,157	事務用品・暗幕カーテン
会議賄い費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	600,000		600,000	659,963	△ 59,963	電話代・郵便代他
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	112,452	△ 82,452	複合機リース料・AEDレンタル料
図書購入費	2,000		2,000	0	2,000	
施設賠償責任保険	2,000		2,000	0	2,000	
職員等研修費	6,000		6,000	2,000	4,000	防火・防災管理者研修参加費
振込手数料	0		0	27	△ 27	振込手数料
リース料	54,000		54,000	51,039	2,961	PCリース料・玄関マットリース料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	88,743		88,743	479,690	△ 390,947	ノートPC修理代・消防設備法定点検代・複合機カウンター料他
事業費	453,429	0	453,429	1,296,255	△ 842,826	
運営協議会経費	42,000		42,000	26,756	15,244	予算:指定額
指定管理料充当 事業	411,429		411,429	1,269,499	△ 858,070	自主事業材料費他
管理費	2,734,800	0	2,728,800	1,610,754	1,118,046	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,514,800	0	1,514,800	846,880	667,920	水道光熱費
電気料金	1,298,487		1,298,487	737,534	560,953	
ガス料金	28,326		28,326	14,920	13,406	
水道料金	187,987		187,987	94,426	93,561	
清掃費	450,000		450,000	440,813	9,187	施設定期清掃代・レンジフード清掃代
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	予算:指定額
機械警備費	100,000		100,000	92,146	7,854	機械警備委託料
設備保全費	190,000	0	190,000	174,053	15,947	
空調衛生設備保守	130,000		130,000	122,861	7,139	空調設備機器・衛生設備保守料
消防設備保守	60,000		60,000	51,192	8,808	消防用設備保守点検料
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	56,862	△ 56,862	テナント地下駐車場警備員派遣料
公租公課	840,000	0	840,000	897,813	△ 57,813	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	840,000		840,000	897,813	△ 57,813	人件費消費税
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	15,490,972	0	15,484,972	16,557,911	△ 1,072,939	
差引	0	△ 474,000	△ 468,000	△ 737,719	269,719	

自主事業費収入	411,429		411,429	781,420	△ 369,991	予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	411,429		411,429	1,269,499	△ 858,070	自主事業材料費他
自主事業収支	0	0	0	△ 488,079	488,079	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「横浜市白根地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,383,431	△ 189,000	22,194,431	22,194,431	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	146,000		146,000	146,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,446,462	4,342,538	4,342,538	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	32,700	△ 32,700	自主事業参加費
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	6,000	△ 6,000	自主事業参加費
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	137,400	△ 137,400	自主事業参加費
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>28,318,431</b>	<b>△ 1,635,462</b>	<b>26,682,969</b>	<b>26,859,069</b>	<b>△ 176,100</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,580,000	0	25,580,000	21,641,692	3,938,308	
本俸	16,072,000		16,072,000	12,700,527	3,371,473	職員給与
社会保険料	5,173,000		5,173,000	2,973,388	2,199,612	健康保険・厚生年金保険・労働保険料
手当計	4,040,000		4,040,000	5,528,361	△ 1,488,361	調整手当・超過勤務手当・通勤手当・その他各種
健康診断費	20,000		20,000	10,016	9,984	職員健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	275,000		275,000	368,212	△ 93,212	職員退職共済制度掛金(横浜市社会福祉協議
その他	0		0	61,188	△ 61,188	職員退職共済制度掛金(福祉医療機構)
事務費	822,858	0	822,858	1,670,424	△ 847,566	
旅費	13,000		13,000	31,519	△ 18,519	職員移動交通費
消耗品費	142,000		142,000	88,080	53,920	事務用品・暗幕カーテン
会議賄い費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	235,000		235,000	223,547	11,453	電話代・郵便代他
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	0	30,000	
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	12,000		12,000	0	12,000	
職員等研修費	10,000		10,000	9,000	1,000	防火・防災管理者研修参加費、職員養成研修参
振込手数料	0		0	27	△ 27	振込手数料
リース料	9,000		9,000	8,593	407	PCリース料・玄関マットリース料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	361,858		361,858	1,309,658	△ 947,800	自動車保険料・ガンリン代・人材紹介手数料他
事業費	1,187,858	0	1,187,858	1,168,430	19,428	
協力医	630,000		630,000	567,000	63,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	102,858		102,858	101,748	1,110	自主事業材料費他
指定管理料充当自主事業(介護予防)	146,000		146,000	167,495	△ 21,495	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	332,187	△ 23,187	予算:指定額
管理費	727,715	0	727,715	467,049	260,666	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	402,668	0	402,668	225,119	177,549	水道光熱費
電気料金	345,167		345,167	196,054	149,113	
ガス料金	7,530		7,530	3,965	3,565	
水道料金	49,971		49,971	25,100	24,871	
清掃費	127,047		127,047	114,307	12,740	施設定期清掃代
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算:指定額
機械警備費	25,000		25,000	24,494	506	機械警備委託料
設備保全費	47,000	0	47,000	46,267	733	
空調衛生設備保守	33,000		33,000	32,659	341	空調設備機器・衛生設備保守料
消防設備保守	14,000		14,000	13,608	392	消防用設備保守点検料
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	56,862	△ 56,862	テナント地下駐車場警備員派遣料
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>28,318,431</b>	<b>0</b>	<b>28,318,431</b>	<b>24,947,595</b>	<b>3,370,836</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,635,462</b>	<b>△ 1,635,462</b>	<b>1,911,474</b>	<b>△ 3,546,936</b>	

自主事業費収入	557,858			176,100		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	557,858			601,430		自主事業材料費他
自主事業収支	0			△ 425,330		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		



## 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市白根地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	7694	24100
その他	0		2632	0	0
介護予防ケアマネジメント 費			2608		
事業・負担金収入					
その他			24		
<b>収入合計(A)</b>	7694		26732	0	0
支出	人件費	0	19951		
	事務費	190	1051		
	事業費	0	205		
	管理費				
	その他	5588	0	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	5588			
	その他				
<b>支出合計(B)</b>	5778	21207	0	0	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>1916</b>	<b>5525</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名 横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
1.法テラス無料法律相談会	①高齢者・障害者	0	0	0	0	0	0
	②3人						
	③¥0						
2.シニアライフ講座	①高齢者・地域住民	24,714	24,714	0	24,714	0	0
	②各回20人						
	③¥0						
3.行政書士無料相談会	①高齢者	0	0	0	0	0	0
	②各回6人						
	③¥0						
4.認知症サポーター養成講座 & 「わが母の記」上映会	①地域住民	27,000	27,000	0	0	27,000	0
	②50人						
	③¥0						
5.認知症サポーター養成講座	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②20名						
	③¥0						
6.メディカルサロン	①高齢者/地域住民	6,674	4,274	2,400	0	6,674	0
	②43名						
	③1回¥0 2回¥100						
7.クレール白根サロン	①高齢者	0	0	0	0	0	0
	②10名						
	③¥0						
8.楽楽ランチ	①高齢者	43,360	13,060	30,300	0	43,360	0
	②39名						
	③一回¥500 二回¥800						
9.白根夜メロ倶楽部	①高齢者	84,000	31,800	52,200	84,000	0	0
	②25名						
	③¥300						
10.まちを知ろう！ふるさとウォーキング	①地域	12,861	10,161	2,700	8,000	3,181	1,680
	②15						
	③¥100						
11.親子でエンジョイ・リトミック	①子ども	73,642	15,142	58,500	54,000	1,322	12,320
	②各10組2回						
	③¥300						
12.おやこたいそう	①子ども	71,376	46,376	25,000	60,000	1,296	10,080
	②15名						
	③¥200						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
13.産後ママ&ベビーのためのヨガ教室	①親子	68,662	46,762	21,900	60,000	598	8,064
	②12名						
	③ ¥ 300						
14.ミドルエイジからのロコトレ教室3	①地域	160,320	26,820	133,500	138,000	3,504	18,816
	②25名						
	③ ¥ 300						
15.まめっこクラブ	①子ども	111,520	48,520	63,000	102,000	0	9,520
	②10名						
	③ ¥ 300						
16.母の日のフラワーアレンジメント	①地域	23,158	2,758	20,400	5,000	18,158	0
	②12名						
	③ ¥ 1500						
17.レクスポーツ入門	①地域	44,480	30,980	13,500	40,000	0	4,480
	②15名						
	③ ¥ 300						
18.初心者のためのウクレレ教室	①地域	47,727	1,227	46,500	35,000	12,727	0
	②24名						
	③ ¥ 500						
19.和布あそび	①地域	191,811	28,511	163,000	63,000	128,811	0
	②20名						
	③ ¥ 700						
20.シニアの社会見学～横浜市防災センター～	①高齢者	6,697	1,397	5,300	6,000	697	0
	②各回20名						
	③ ¥ 100						
21.傾聴ボランティア入門	①地域	48,072	24,572	23,500	48,072	0	0
	②20名						
	③ ¥ 500						
22.家庭料理をすこしだけプレミアムに	①地域	16,519	3,199	13,320	6,000	9,406	1,113
	②各回10名						
	③ ¥ 1000						
23.キッズキッチン	①子ども	13,114	7,614	5,500	7,000	5,554	560
	②12名						
	③ ¥ 500						
24.食べて造る！ 燃焼系Body	①地域	17,726	9,726	8,000	15,000	2,166	560
	②15名						
	③ ¥ 500						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
25.父の日のハンドメイド教室	①子ども	7,484	5,384	2,100	5,000	2,484	0
	②10名						
	③¥300						
26.コーヒーバリスタ講座	①地域	10,000	5,500	4,500	5,000	5,000	0
	②20名						
	③¥500						
27.にこにこサロン	①乳幼児	28,183	4,983	23,200	17,793	3,670	6,720
	②20名						
	③¥100						
28.お茶のみサロン	①地域	4,246	1,046	3,200	0	0	4,246
	②20名						
	③¥100						
29.マーじゃんボランティア養成講座	①地域	79,600	55,300	24,300	74,000	0	5,600
	②16名						
	③¥300						
30.動いて造る！ 燃焼系Body	①地域	5,560	1,660	3,900	5,000	0	560
	②15名						
	③¥300						
31. 秋の横浜歴史散策プラス シニアの社会見学	①高齢	700	700	0	0	0	700
	②10名						
	③¥100						
32.もっと楽しく！子どもに寄り 添う子育て	①こども	11,837	11,837	0	11,137	0	700
	②各回15名						
	③¥300						
33.書初め教室	①子ども	13,012	3,712	9,300	10,000	1,892	1,120
	②12名						
	③¥300						
34.ケアプラ音楽祭	①地域	9,030	9,030	0	7,000	630	1,400
	②無し						
	③¥0						
35.白根地域ケアプラザ文化祭	①地域	560	560	0	0	0	560
	②無し						
	③¥0						
36.障がい児余暇支援サポ ーター講座みんなちがってあたり まえ	①地域	0	0	0	0	0	0
	②20名						
	③¥0						
37.いきいき健康倶楽部	①高齢者	250,526	124,526	126,000	185,000	216	62,310
	②20名						
	③¥500						
38.歩き方教室	①高齢者	27,817	27,817	0	26,137	0	1,680
	②各20名						
	③¥0						
39.Smile健康塾	①高齢者	85,797	79,797	6,000	63,132	18,185	4,480
	②各20名						
	③¥0						
40.男の歩き方教室	①高齢者	12,257	12,257	0	11,137	0	1,120
	②各20名						
	③¥0						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	総経費	自主事業決算額				
			収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
41ヘルス未来研究会	①地域	31120	31120	0	30000	0	1120
	②各20名						
	③¥0						
42.興和台第1回体力測定	①地域の高齢者	25840	25840	0	25000	0	840
	②30名						
	③¥0						
43.キャラ弁はじめの一步	①子ども	11640	6140	5500	5000	5940	700
	②12名						
	③¥300						
44.サロン・ドウ・しらね	①地域	15280	15280	0	7791	3569	3920
	無し						
	③¥0						
45.団体交流会	①地域	4381	4381	0	0	4381	0
	無し						
	③¥0						
46.デコもちで楽しくアレンジ	①地域	12020	5520	6500	5000	7020	0
	②13名						
	③¥500						
47.出張プレーパーク	子ども	700	700	0	0	0	700
	無し						
	③¥0						
48.かわいいいまめ・豆小物づくり	子ども	7,072	5,272	1,800	5,000	1,512	560
	②12名						
	③¥300						
49.クリスマス交流会	障害者	14,209	1,909	12,300	0	14,209	0
	②30名						
	③¥500						
50.手習い 大正琴	①高齢者	33,360	18,060	15,300	30,000	0	3,360
	②各10名						
	③¥300						
51.つるし雛	①地域	5,962	962	5,000	0	5,962	0
	②無し						
	③¥100						
52.ケアプラ大掃除	①地域	1063	1063	0	0	503	560
	②無し						
	③¥0						
53.4CP共催企画「横浜歴史ウォーク」	①地域	1591	1591	0	0	0	1591
	②30名						
	③¥0						
54.親子でからだをつかってあそぼう	①子ども	0	0	0	0	0	0
	②12名						
	③無し						
55.障害児・者のためのお出かけサポート講習会	①地域	0	0	0	0	0	0
	②各20名						
	③¥0						
56.障害児余暇支援なかよし	①障害児	0	0	0	0	0	0
	②各20名						
	③¥0						
57.認知症サポーター養成講座	①子ども	324	324	0	0	324	0
	②15名						
	③¥0						
58.合同歌声喫茶2017	①地域	0	0	0	0	0	0
	②無し						
	③¥0						
59.旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業	①地域	0	0	0	0	0	0
	②無し						
	③¥0						
60.4地域ケアプラザ合同エンディングノート書き方講座	①地域	0	0	0	0	0	0
	②60名						
	③¥0						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市白根地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
1 法テラス 無料法律相談会	<p>目的：高齢者や障害者の相談窓口としてのケアプラザの周知及び成年後見制度やその他法令の周知啓発。</p> <p>内容：法テラス無料出張相談会を通じ65歳以上の高齢者や障害者及びその家族・支援者に対し、法律相談会を実施しました。</p>	5月20日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
2 シニアライフ 講座	<p>目的：高齢者やその家族及び地域住民、誰もが円滑に実りあるシニアライフを実現し、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活を送る事ができるよう多方面からの講座を設け情報提供、普及啓発活動を行う。</p> <p>内容：通年企画7回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「老後の住まい」</li> <li>・「今さら聞けない成年後見・誰にも聞けない遺産相続」</li> <li>・「施設見学会」</li> <li>・「旭中央病院医師講演会あなたの寝たきり警戒レベルは？」</li> <li>・「神奈川病院医師講演会 高齢期のうつと認知症」</li> </ul>	5月・6月・7月・11月・3月  全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3 行政書士 無料相談会	<p>目的：相続・遺言・成年後見の理解と普及啓発。高齢者の権利擁護の相談窓口としての周知。</p> <p>内容：コスモス成年後見サポートセンターの協力のもと、行政書士2名体制・年度内4回・1日最大6組まで対応しました。相談内容としては成年後見や遺産相続・財産整理・遺言書の書き方等、高齢者の権利擁護の周知を行いました。通年全4回</p>	4月9日・8月6日・12月2日・2月4日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
4 認知症サポーター養成講座& 「わが母の記」 上映会	<p>目的：地域住民に対し認知症への正しい理解と啓発活動を行う。</p> <p>内容：地域住民に対し正しい理解と対応方法について養成講座を開催し、「アルツハイマーデー」にちなんで認知症関連映画「わが母の記」を上映し、受講意識を高めました。</p>	9月18日 全1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
5 認知症 サポーター養成 講座	<p>目的：地域住民に対し認知症への正しい理解と啓発活動を行う。</p> <p>内容：地域住民に対し認知症への正しい理解と関わり方、対応方法について養成講座を実施しました。地域での見守り体制の強化と認知症になっても安心して生活ができる居場所づくりを促進し、より具体的に地域住民のつながり意識を向上させました。</p>	7月2日・9月18日・3月27日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
6 メディカルサロン	<p>目的：地域の高齢者が介護予防の為に医師と気軽に相談できる場を作り、ケアプラザ協力医について理解を深めて頂く。</p> <p>内容：協力医を囲んで、テーマを決め茶話会を開催しました。</p> <p>第一回：平成29年6月21日「認知症初期の気づき」</p> <p>第二回：平成29年12月20日「高齢者に多い肺炎」</p>	6月21日 12月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
7 クレール白根 サロン	<p>目的：クレール白根（高齢者住宅）の住民の交流を図り仲間作りを進めると共に、介護予防の意識を持ってもらうきっかけを作る。</p> <p>内容：・介護保険について ・後見制度/相続問題について ・介護保険外サービスの紹介等</p> <p>上記三回を実施し、介護予防の意識付けを行った後サロンとして茶話会を実施。住民同士の交流を行いました。</p>	6月19日 10月20日 2月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
8 楽楽ランチ	<p>目的：興和台地区の見守りネットワークの方々が、閉じこもりがちな高齢者を食事会に定期的に参加させたいという企画へむけてケアプラザと共催企画で高齢者のニーズを把握。</p> <p>内容：配食サービスの試食会とお楽しみ演芸会の開催</p> <p>参加者を見守りネットワーク、老人会、自治会の方々が、回覧、訪問で募った。</p>	10月7日 3月1日

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
9 白根夜メロ倶楽部	<p>目的：男性（特に団塊世代の男性）の交流と地域での仲間づくりの場の提供。</p> <p>内容：団塊の世代の男性が親しんできたロシア民謡を始め、70年代のフォークソング等を選曲したこだわりの歌声サロン。また交流タイムを設け、第二の人生を充実したものにするため共有する時間をもちました。</p>	4～3月 月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
10 まちを知ろう！ふるさとウォーキング	<p>目的：高齢者の引きこもり防止と交流の場の提供。</p> <p>内容：ウォーキングを通して地域の高齢者の交流と健康づくりの一助とする。コースについては旭区ガイドボランティア及び地域のボランティアの意見を取り入れ、誰でも無理なく楽しめるコースを歩きました。</p>	4月・11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
11 親子でエンジョイ・リトミック	<p>目的：子育て支援として親子または参加者同士の交流と場の提供。</p> <p>内容：音楽に合わせて身体を動かし、リズム感を養う。また親子のコミュニケーションをはかる場とし、孤立しがちな子育て環境を支援しました。</p>	4～3月 (1月休み) 月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
12 おやこたいそう	<p>目的：子育て支援として親子または参加者同士の交流と場の提供。</p> <p>内容：楽しく身体を動かす。遊びを通して成長に必要な動きの基礎を身につけることを目的に行いました。</p>	4～3月 月1回



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
13 産後ママ&ベビーのためのヨガ教室	目的：子育て支援として親子または参加者同士の交流と場の提供。 内容：お母さんの産後ケアと赤ちゃんとのふれあい。	4～3月 月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
14 ミドルエイジからのロコトレ教室3	目的：高齢者の引きこもり防止と仲間づくりの場の提供。 内容：筋力の向上を意識して、姿勢改善の体操やストレッチ等を中心に座学を含め、介護予防として行いました。	4～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
15 まめっこクラブ	目的：都市化・少子化により生活形式が変化し、遊び場・遊び仲間・遊ぶ時間が減少している子ども達に、身体を使って遊ぶことの楽しさとコミュニケーションの取り方を知ってもらう。 内容：ボール等の用具を使い、体力・運動機能の向上。簡単なゲームを取り入れルールやコミュニケーションを学ぶ協調性を養う。また全身運動を行うことで状況判断や創造性促進の手助けとしておこないました。	4～7月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
16 母の日のフラワーアレンジメント	目的：季節のイベントを通して多世代交流の機会をもつ。 内容：事業の参加対象者を拡大し広く受け入れ、幼児も保護者とともに参加できるようにする。また自由な発想で花に親しむ機会としておこないました。	5月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
17 レクスポーツ入門	<p>目的：軽スポーツやレクを学び、地域の健康サロン等で活動できる人材を発掘、養成する。</p> <p>内容：ハマトレなどの簡単な体操やストレッチ、脳トレ、軽スポーツ、レクレーションを習得し、地域の人たちと一緒に楽しみながらサポートできるよう身につけられるようにしました。</p>	5月～8月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
18 初心者のためのウクレレ教室	<p>目的：ウクレレを取り扱うことで認知症の予防となり、地域の音楽好きな方の交流をはかる。</p> <p>内容：初心者のための基礎を中心に楽器のチューニング方法や音階、指運びなどを教則本に添った内容で実施する。最終日には簡単な童謡が弾けることを目標とする。仲間との合奏を通してウクレレの楽しさを知ってもらえるようおこないました。</p>	4月～7月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
19 和布あそび	<p>目的：和布を使って布の花を作り、介護予防と参加者同士の交流をはかる。</p> <p>内容：毎月1個ずつ季節おりおりの花作りに挑戦し、3月のつるし雛まつりを目標に仕上げ、出品できるようにしました。</p>	5月～1月 月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
20 シニアの社会見学	<p>目的：高齢者が災害に備え、自助・共助の意識を高める。</p> <p>内容：横浜市民防災センターの見学と災害時に役立つワークショップとして行いました。老人福祉センター福寿荘共催。</p>	6月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
21 傾聴ボランティア入門	<p>目的：傾聴を通し様々な場面や施設で、ボランティアとして活動できる人材を養成する。</p> <p>内容：傾聴ボランティアとしての心構えを改めて検証し、特に施設での活動を実践していくうえでの課題について解決を図る。これから傾聴を始めようと思っている人も含め、基礎から見直し、専門性についても触れました。</p>	6月～7月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
22 家庭料理をすこしだけプレミアムに	<p>目的：旬の地場野菜を使った料理を通して、食生活を見直し健康を整える。また生産者を知ることで食への興味をもつ。</p> <p>内容：西谷地区の生産者の地場野菜と身近な食材を使い、おもてなし料理を作りました。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
23 キッズキッチン	<p>目的：食事の重要性や楽しさを学び、仲間と一緒に作ることで交流をはかる。</p> <p>内容：子どもが火をつかわずに安全に簡単に作れる献立を提案。子ども達が食に興味を持ち、食事作りを楽しむきっかけとなりました。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
24 食べて造る！燃焼系Body	<p>目的：加齢による肥満や成人病の危機を認識し、栄養学に基づいた健康で美しい身体の作り方を享受する。</p> <p>内容：横浜市スポーツ医科学センターの管理栄養士より栄養や食事の献立についてアドバイスをもらいました。</p>	9月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
25 父の日ハンドメイド教室	<p>目的：季節のイベントを通して、親子間のコミュニケーションをはかる。</p> <p>内容：フォトスタンドを製作しました。</p>	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
26 コーヒーバリスタ講座	<p>目的：地域のサロン等で活動できる担い手の発掘と養成</p> <p>内容：コーヒーの基本的な知識と技術を学び、地域の中でコーヒーを通して交流とくつろぎの場を提供できるように目的で行いました。</p>	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
27 にこにこサロン	<p>目的：子育て支援として親子また参加者同士の交流の場の提供。</p> <p>内容：読み聞かせ、ミニイベント等開催し参加者間、ボランティアとの交流を行いました。</p>	4月～3月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
28 お茶のみサロン	<p>目的：地域住民の交流の場、仲間づくりの場とする。</p> <p>内容：ケアプラザや地区センターで活動する団体の体験や紹介を行いました。</p>	4月～3月 12回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
29 マージャンボランティア養成講座	<p>目的：施設等でマージャンボランティアとして活動する人材育成。</p> <p>内容：マージャン初心者を対象に正しいルールを覚え、ボランティアとして活動を支援しました。</p>	9月～2月 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
30. 動いて造る！ 燃焼系Body	<p>目的：加齢による肥満や成人病の危機を認識し、体幹を意識した美しい身体の作り方を享受する。</p> <p>内容：自宅で継続できる覚えやすい動きを紹介。体幹を鍛え、ダイエットや生活習慣病の予防を促しました。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
31 秋の横浜歴史散策プラスシニアの社会見学	<p>目的：地域を超えた仲間づくりを促進する。ウォーキングを通して元気に歩くことで健康づくりをし、高齢者の引きこもり防止と仲間づくりの場を提供。</p> <p>内容：関心の高い大河ドラマにゆかりのある人物や場所を巡り、歴史に触れる機会とする。横浜開港を絡めた歴史ウォーク。</p>	12月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
32 もっと楽しく！子どもに寄り添う子育て	<p>目的：育てづらさを抱えている保護者を対象に就学前の不安や悩みを共有し、前向きに子育てに取り組むことが出来るよう支援する</p> <p>内容：相談機関の心理士の講演会とグループトーク 発達の遅れや出来ないことに着目するのではなく、自分自身（母親）の子育てを見直す機会とする。子どもとのかかわりがストレスとならず、一緒に楽しむ、共有できる時間であることに気付く。年齢に応じた関わり、寄り添い方を知るを目的に行いました。</p>	11月 回 1

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
33 書初め教室	<p>目的：就園児・小中学生の余暇支援。</p> <p>内容：楽しく書道に親しむと同時に書初めを通して日本の伝統行事に触れる事を目的に行いました。</p>	12月・1月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
34 ケアプラ音楽祭	<p>目的：ケアプラザで活動している音楽系の団体の発表の場とし、サークル間の交流をはかる。</p> <p>内容：日頃の活動の成果を発表すると同時にサークル間の交流、また活動を知ってもらう機会としました。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
35 白根ケアプラザ文化祭	<p>目的：ケアプラザで活動している団体の発表の場とし、サークル間の交流をはかる。地域住民にケアプラザを周知する機会とする。</p> <p>内容：まつり実行委員会を発足し、積極的に福祉保健活動に関わる意欲、関心を高めるようにおこないました。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
36 障害児余暇支援サポーター講座みんなちがってあたりまえ	<p>目的：障がい児について理解を深めると同時に、現在行っている余暇支援でのボランティアを増やすことを目的とする。</p> <p>内容：瀬谷区で活動している知的障害理解啓発グループ「ant mama」による講演とワークショップを行った。</p>	5月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
37 いきいきけんこう倶楽部	<p>目的：高齢者の引きこもり防止と仲間作りの場の提供、健康維持及び、健康意識の向上。</p> <p>内容：適度な運動による身体機能の維持や向上とレクリエーションを通じて脳の活性化とコミュニケーションの活性化を図りました。</p>	<p>4月～9月 14回 10月～3月 11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
38 歩き方教室	<p>目的：正しい姿勢の獲得、地域における交流を深める。</p> <p>内容：姿勢の確認、指導をし、実際にノルディックウォーキングにて歩行。運動、健康増進への予防普及啓発を行いました。</p>	<p>9月～11月 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
39 Smile健康塾	<p>目的：年間を通して様々な健康事業を行い健康維持及び健康意識の向上。</p> <p>内容：口腔、認知症、栄養、ロコモティブシンドロームの介護予防普及啓発事業を行い年間を通して健康増進に努めました。</p>	<p>5月～12月 8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
40 男の歩き方教室	<p>目的：必要な運動、体操を学び筋力の維持、転倒予防へ繋げることができ、加えて新たな地域との関わりを持つことが出来る。</p> <p>内容：座学と実際に歩行姿をビデオ撮影し確認することで今の自分の状況を客観的に見て頂き、また理学療法士がアセスメントをし、よりその人にあった筋力の維持、転倒予防へ啓発を図りました。</p>	<p>2月～3月 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
41 ヘルス未来研究会	<p>目的：地域で介護予防に取り組んでらっしゃる団体の方々へのフォローアップと、普段顔を合わす機会が無い、ボランティア同士の交流を図る。</p> <p>内容：ハマトレの指導と復習、脳トレの実施を体育協会の講師を招いて実施。</p>	<p>2回/6月</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
42 興和台第一回体力測定	目的：自分自身の現在の体の状況を把握し、維持できるように助言した。現在の運動機能の状態を確認しサロン、サークルへ促す。 内容：普段検診などで行えない体力、運動機能測定を実施。又それを記録することで自分の体力を客観的に確認し、継続して行っている運動等への自信へ繋げ、筋力の維持向上に関しての普及啓発を図ることができた。	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
43 キャラ弁はじめの一步	目的：手作りの楽しさと食の大切さを学び、参加者同士の交流の場を提供する。 内容：子ども主体の行楽弁当作りを通して、手作りの楽しさを知ってもらい、親子の会話を増やすきっかけを作る。また同世代の子をもつ親同士の交流をはかりました。	9月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
44 サロン・ドゥ・しらね	目的：地域住民の交流の場、仲間づくりの場とする。また団塊の世代（特に男性）が身近な地域参加へのきっかけとする。 内容：1970年代の唄をギターに合わせ歌う。またコーヒボランティアの協力によりコーヒの提供、新たな趣味を見つけるきっかけとなりました。	9月～3月 月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
45 団体交流会	目的：ケアプラザ利用団体の連絡・交流会 内容：主に登録団体Ⅱの代表の皆さんに集まっていたいただき、前回の交流会でいただいた懸案事項の回答、施設利用方法の説明、今期のケアプラザ行事の紹介を行なうとともに、参加者からの活動報告、施設利用に関する要望等をうかがいました。	6月11月の2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
46 デコもちで楽しくアレンジ	目的：地域のイベントを支える担い手の養成と交流 内容：今年20回目の節目を迎える地域最大行事の「白根カーニバル」に新たな担い手として考える、余暇支援活動の保護者がイベントに参加しやすい環境を作る。また昼食会ボランティアさんのスキルアップと相互の交流をはかるため、出店するおしるこのお餅作りを勉強しました。	10月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
47 出張プレーパーク	目的：遊び方を身体を使って感じ、また、親子のスキンシップの取り方を遊びから学。、交流の場の提供。 内容：段ボールや新聞紙を使って遊んだり、ねんど遊びなど手作り遊びを一日中遊ぶ	7月と12月各1回



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
48 かわいいまめ・豆小物づくり	目的：地域の子ども達の余暇支援と、季節のイベントを通して仲間づくりのきっかけとする。 内容：2月3日の節分にちなみ、豆を使った小物づくりをする。	1月1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
49 クリスマス交流会	目的：当事者との交流を目的とし、地域での居場所としての役割をもつ 内容：精神保健ボランティア講座受講者をケアプラザエリア内の事業所と繋ぎ、地域に根差したボランティアとしての活動へ促進する。当事者も企画から参加し、双方の交流をはかりながら新たな居場所を作る。参加者全員での食事と交流会。	12月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
50 手習い大正琴	目的：過去に親しんだ大正琴をまた、弾いてみたいという方の声を聞き、外出するきっかけと趣味を始める楽しみと向上心と、同趣味で集まる方々との交流、場の提供 内容：初回4回は、初歩の方用に座る位置、琴の置き方、指の位置、譜面の見かたを学ぶため”さくらさくら”を弾けることを到達点としました。（アレンジがいくつかある）。	11月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
51 つるし雛	目的：ケアプラザ主催の事業「和布あそび」の作品の展示と 地域住民の交流の場とする 内容：事業で製作した作品と事業参加の方々が事前に製作したつるし飾りを展示する	3月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
52 ケアプラ大掃除	目的：ケアプラザで活動する団体のボランティア活動の場を提供すると共に、衛生管理への意識向上を図る。 内容：調理室を活動場所としているサークルにボランティアをお願いしました。	10月と3月

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
53 4CP共催企画 横浜歴史ウォーク	目的：地域を超えた仲間づくりを促進する。ウォーキングを通して元気に歩くことで健康づくりをし、高齢者の引きこもり防止と仲間づくりの場を提供。  内容：関心の高い大河ドラマにゆかりのある人物や場所を巡り、歴史に触れる機会とする。横浜開港を絡めた歴史ウォーク。（川井・今宿西・宮崎 共催）	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
54 親子でからだをつかってあそぼう	目的：子育て支援として親子または参加者同士の交流と場の提供。 内容：身近なものを使って楽しくあそびながら親子のコミュニケーションをはかる。また母親の体力向上を目的としました。	9月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
55 障害児・者のためのお出かけサポート講習会	目的：障害のある子どもが安心して外出できるよう障害について学び、付き添いなどできるようにする。 内容：1. 障がいの種類 2. みどり養護学校に通う子ども達～知的障害・発達障害の特性を知る～ 3. 安心安全のための注意点 4. みんなで支え合う地域へ（外出支援の必要性など） ガイドボランティア制度について	10月 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
56 障害児余暇支援なかよし	目的：障害児の自立と地域住民との交流。障害児を地域で支える環境づくり。 内容：白根地区社会福祉協議会、横浜市老人福祉センター福寿荘と共催ですすめている、地域の特別支援級の子どもの余暇支援事業。毎月2回の開催。「パン作り教室」、「プランターで行う農園作業」、「近隣施設へのお出かけ支援」、「地域イベントの参加」等の余暇支援活動の企画・運営を支援しました。	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
57 認知症サポーター養成講座	目的：ジュニアボランティアに認知症について知ってもらう為 内容：. 認知症サポーター養成講座開催	7月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
58 合同歌声喫茶2017	目的：歌好きな方々が集まって仲間づくりや健康づくり。また外出の機会をつくることで引きこもり予防。旭区内全ケアプラザが参加。 内容：旭区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。	5月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
59 旭ふれあい 区民まつり 行政・PRコー ナー出展事業	<p>目的：来場しているお客様に地域ケアプラザ及び 地域福祉保健計画を知る機会を作る。</p> <p>内容：①地福計画の推進・アンケート・啓発物配布②ケアプラザ機能周知・福祉保健活動の推進</p> <p>コーヒーボランティア「ペリゴール」によるサイフォンコーヒーの配布</p> <p>・子育て支援プログラムの提供、射的</p>	10月1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
60 4地域ケア プラザ合同エン ディングノート 書き方講座	<p>目的：旭区版エンディングノートの周知と正しい活用方法を学ぶ</p> <p>内容：上白根・今宿西・ひかりが丘・白根合同で上白根地域ケアプラザを会場として行う。エンディングノートを各部門に分け、全3回の講座を実施し、広くエンディングノートの必要性を周知することが出来た。</p>	11月・12月・1月 全3回